

愛知山岳連盟

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 石川 富康
 編集人 中平等 新一
 名古屋市中白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 4月18日(土) 愛知県山岳連盟定期総会

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

岳連親睦スキー大会に参加のみなさん

イトシロ・シャロットスキー場



第37回岳連親睦スキー大会

和気あいあい47名が参加

恒例の愛知岳連親睦スキー大会が2月8日(日)に、例年どおりイトシロシャロットタウンスキー場で開催された。今回は、雪の量は例年並であったが、前日は夕方より雨が降るなど、気温が高めで、この時期としては固めの雪質での大会となった。しかしながら競技参加者は47名を数え、例年度より14名増というところが、また、競技には参加しないうが当日仲間の応援に駆けつけ、昼食を共にした会員が3名を数え、合計47名の参加となった。競技後の閉会式でも、経済状況が悪化する中、精一杯の協力をしていた各協賛店の豪華な商品に歓声が上ががり、大いに盛り上がる大会となった。

なお、本大会は例年2月第1日曜日に実施していたが、今年度については、1月の理事会から日数が少ないということで第2日曜日に実施する運びとなった。この日程は三重県岳連が大会を実施しており、宿舎については例年三重県が貸し切っている状況であるところ、今回については三重県山岳連盟から快く融通を

していただくことができた。また、宿舎の民宿「ささき」さんも一階部分を改築し、とてもきれいになっただけでなく、満室の状況の中であたたかな気遣いを頂いた。三重県岳連関係の方々および「ささき」さんにこの場を借りて感謝申し上げます。

最後に、今回は昨年度比1.5倍の参加者を迎えることができた。参加各団体に深く感謝を申し上げます。本大会は、愛知県山岳連盟の数多い行事の中でもっとも伝統のある行事の一つである。運営側としても、より多くの会員の方々が参加していただけるように努力していきたいと考えている。今後も、愛知県山岳連盟加盟団体会員同士の親睦を深める機会として積極的にご参加頂くようお願い申し上げます。

成績は次のとおりです。

(個人の部)

- 優勝 柴田高教(豊橋山岳会)
- 2位 坂井治夫(天台山岳会)
- 3位 磯山 登(天台山岳会)
- 4位 杉本憲広(愛知県高体連)
- 5位 加藤千紘(天台山岳会)

(敬称略)



ゴールに向け一斉にスタート //

〔団体の部〕
優勝 豊橋山岳会
2位 犬山山岳会A
3位 犬山山岳会B
本大会の賞品につきましては以下の協賛店のご協力を頂きました。紙面を借りて厚く

猿投山山岳マラソン大会

快晴の下全員が快調に完走

3月15日(日)地上から頂上まで標高差475m、距離5kmのコースを駆け上る、猿投山山岳マラソン大会(中日新聞後援)が行われ、五十一人の選手がエントリーした。

朝から快晴の下、岳連スタッフが九時集合し、打合せのち各ポイントで選手を誘導するため山に登った。

注意事項を述べる。十時石川会長のスタート合図で選手は一斉に走り出す。各選手は絶好のコンディションに快調に飛ばし、全員が完走した。成績は次のとおり

〔一般の部〕①斉藤健一郎 34分16秒②堀部誠 35・16③小田春彦 35・30

〔高校の部〕①原知明 30分46秒①福地良樹①加藤路尚 (以上旭丘高校)

感謝を申し上げます。
〔協賛店〕

アルパインツアーサービス、駅前アルプス、カジタックス、ステラアルピーナ、穂高、モンタニア(アイウエオ順)
(関谷雅樹)

4月18日遭対会議

互いに情報交換し
連絡を密に

今年の正月は、天候が穏やかだったせい、冬合宿がスムーズに実施できたようだ。近年は、地球温暖化の影響でここ数年暖冬気味に推移しているが、二五〇〇米以上や深

い谷筋では、例年並みに積雪が見られます。春合宿を計画されるに当たっては、雪が少ないとはいえまだ雪崩の危険があり、充分に注意して下さい。

県体協Jr補助事業報告

高体連 岩狭 満

今年度の愛知県体育協会補助金によるジュニア関係事業が2月14日をもって全て終了しました。今年度は普及事業としてクライミングの講習会を7月(ビッグロック)と12月(カクタス)の2回、ジュニア強化事業としてボルダリングの記録会を9月(エイム)と1月(キューブ)の2回、クライミングの記録会を11月(カクタス)と2月(ビッグロック)の2回、合計6回の事業を行い、延べ146名の参加者がありました。

講習会は学校が夏休みや冬休みになる期間に設定し、名古屋地区と三河地区とで実施したことにより、昨年度よりも高校生が参加しやすくなったと思います。1日の講習会だけでは十分なことではできませんが、新入部員に対しての「クライミングの体験」ということでは意味のある事業だ

尚、4月18日(日)には午後から総会のあと、遭難対策会議を開きます。山行の各リーダーは必ず出席して、情報交換を行うて連絡を密にし、事故防止に繋げていって下さい。

と考えます。この「体験」により少しでも興味を持つ若い人が増えてくれることを期待して運営を行いました。

一方記録会は、講習会の「体験」だけで終わらず、継続して練習に取り組むための「目標」として計画しました。また、会場を毎回変えて実施することで、多様な壁で練習できるようにしました。その甲斐があり高校生も少しずつ実力をつけてきているように感じます。全国に目を転じればまだまだとは思いますが、上達の速さには目を見張るものがあります。

来年度の計画は補助金の関係で現時点ではまだ未定ですが、夏休み期間の早い時期に名古屋と三河で講習会を実施し、9月から記録会を実施していく方向で考えています。また、参加資格は「中学生または高校生」ということだけですので、身近にそのような方がみえれば是非参加を促していただければ幸いです。

登山・スキー・アウトドア専門店
モンタニア
 豊橋市菅町5 ☎0532-55-0125

使って安心 **MERZEN** のクリップ
 このほかにも各種そろえております

帽子キーパーにも便利!

 フィッシュクリップ キーパークリップ パワークリップ

株式会社マーゼンプロダクツ
 〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山645 Tel.0561-73-3411

第47回海外登山技術研究会

海外登山奨励金交付登山隊報告

海外委員長 鈴木清彦

開催日 2009年2月10日(火)・11日(水)

開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

10日(火)の18時30分より開催された今年の海外登山技術研究会、東京会場とあつて、一昨年の八王子の2倍以上の参加者でした。初日のセッションIでは、今年度の海外登山奨励金交付登山隊の報告がされました。

1. 松本クライミングメイイトクラブ、馬目弘仁さん・岡田康さんのテンカンポチエ峰

ネパール、クンブリエリアにあるこのテンカンポチエ峰は、アプロチが短くてすむメリックを生かしてクライミングできる。10月下旬から11月上旬の4日間でバルチャモ峰(6180m)周辺で高度順応し、11月9日より下部岸壁の偵察を兼ねて登山を開始、12日、グラランドシートを袋状に改良したテントを5000m付近のテラスに設置、13日、ミックス帯を5650mまで登り設置。14日、ビバーク装備した

ペアートゥース登攀後、デナリのウエストバットレスで順応し、ルース氷河のウエストフォークに入り、そのままアイシスフェースに取り付き、コンテナンスでスピードアップ、ここ第2登だそうです。稜線からランブルートの下降を始め、途中でテント泊、翌日南壁基部まで下降するも、セラックの崩壊の恐怖も含め、本山中最も危険かつルートファインディングの困難な場所だったそうです。

南壁はスロバクダイレクトを登攀、壁を抜けた後はカシニリッジを登り、山頂からはウエスとバットレスを下降、合計8日間の登攀でした。国内の継続登攀のトレーニングの積み重ねが結果を生んだ、成功のキーワードは「生活技術」と「忍耐」と報告されていたのが印象的でした。この継続登攀では超軽量化はそれ程図ってはいず、シユラフもダウン量900gを使っていたそうです。

2. GIRI-GIRI BOYS、一村文隆さん・佐藤祐介さん・横山勝丘さんのアラスカでの登攀

初めはベアトゥース北東壁の未登のど真中のライン取り付きからコンテナンスを含めて、18ピッチ、ワンピバークでの登攀、10ピッチ目からの300mは部分的に人工登攀を用いて、氷も安定せず、非常に不安定な登攀を強いられたと報告されました。

壁が続くが上部の雪壁は、踏んでも固まらない砂糖のような霜ザラメ雪で、プロテクションに苦労したが、どうにか壁を突破することができ設置。翌日、南峰までは歩くだけと思っていたところ、巨大クレバスに阻まれて予想以上に時間がかかり、1時頃南峰のピークに立つ。南峰からは標高差400mほどの下降で、未知な氷河の状態を予測すると、ここから1歩を踏み出さず、戻ることになった、今振り返ると、気持ち折れていたと報告されました。昨晩と同じ場所に設置し、7月14日同ルートを下降、支点はアバラコフが中心で、比較的安定した氷が利用できたそうです。南峰のラインは思っていたより遥かに悪かったが、北東壁を登ることを思えば楽だろう。腐れ雪、巨大霜ザラメ雪に対応できる支点を素早く設置できるギア・技術が必携で、それに対する備えや経験が不足していた。それが南峰からの下降点での弱気につながった。と報告されました。

3. チームブランカ、花谷泰広さん・上田幸雄さんのベルアンデス、ワスカラン

ワスカランで高所順応した後、ワンドイ北峰から東峰への縦走を試みる、南峰・南壁を南峰の肩を目指して7月12日登攀開始、50〜60度の氷雪

壁が続きが上部の雪壁は、踏んでも固まらない砂糖のような霜ザラメ雪で、プロテクションに苦労したが、どうにか壁を突破することができ設置。翌日、南峰までは歩くだけと思っていたところ、巨大クレバスに阻まれて予想以上に時間がかかり、1時頃南峰のピークに立つ。南峰からは標高差400mほどの下降で、未知な氷河の状態を予測すると、ここから1歩を踏み出さず、戻ることになった、今振り返ると、気持ち折れていたと報告されました。昨晩と同じ場所に設置し、7月14日同ルートを下降、支点はアバラコフが中心で、比較的安定した氷が利用できたそうです。南峰のラインは思っていたより遥かに悪かったが、北東壁を登ることを思えば楽だろう。腐れ雪、巨大霜ザラメ雪に対応できる支点を素早く設置できるギア・技術が必携で、それに対する備えや経験が不足していた。それが南峰からの下降点での弱気につながった。と報告されました。

登山ツアーと山行計画の御用命なら!

オーダーメイドの山旅も承ります
お見積り無料! お気遣いどうぞ

初心者からベテランまで...国内日帰りから海外の名峰まで
高所登山の前に最適な低酸素トレーニング室を設置しています!

観光庁長官登録旅行業務第1366号/日本旅行業協会正会員/ボート保証会会員

アミューズトラベル株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-11-27 第二豊田ビル東館7階(1階は駅前アルプスさん)

TEL: 052-588-5617 FAX: 052-588-5618 ホームページ http://www.amuse-travel.co.jp

名古屋・伏見 長者町の山用品専門店

MOUNT & OUTDOOR GOODS PRO SHOP
ステラルピーナ
(旧シャツパーム)

名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739

営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)